

2024年1月9日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツ **自動運転（レベル4相当）に関する技術立証と** **社会受容性向上のための試乗体験会を実施します**

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ(所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則)は、山梨県を代表団体とする令和4年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用した実証事業に参画しています。本実証実験では、以下の2つの取組を実施するものです。

[取組①：レベル4相当*の運行を目指した自動運転の技術立証]

今年度は運転者が操縦の責任を持った上で、特定の条件下においてハンドルやアクセル、ブレーキなどの操作をシステムが自動で行う自動運転車両（自動運転レベル2）を用い、甲府駅からゆめソーラー館やまなし（約12.5km）の公道を走行して技術立証を行います。

[取組②：社会受容性向上のための試乗体験会]

山梨県民を中心とした一般の方々を試乗対象とし、甲府駅から甲府市役所周辺（約1.2km）の区間で、自動運転車両の試乗体験会を実施します。

同社は、今後も山梨県において新モビリティの技術導入に向けた検証を進め、地域の規模や地域特性に応じた交通まちづくりを推進して参ります。

※注記）レベル4相当：今回の技術立証ルートではシステムが基本的な操縦を行いますが、運転席にはドライバーが乗車し、安全確保等の観点からシステムでの操縦が困難な状況においてはドライバーが手動介入を行うものです

【実証実験の目的】

山梨県では、人口減少に伴う公共交通の輸送人員の減少で、地域公共交通の維持や交通事業者の担い手の確保が難しい状況になることが想定されています。これにより将来的に移動困難者が飛躍的に増加することが大きな課題となっています。本実証実験は、山梨県が抱える交通課題解決に向け、レベル4相当の運行を目指し、路車協調システム等を用いた自動運転の技術立証と、自動運転の仕組みや認知度の向上による新モビリティの社会受容性の醸成を目的としています。

【実施体制について】

以下のコンソーシアムを組成し、共同して実施します。

代表団体：山梨県

参加団体：株式会社オリエンタルコンサルタンツ、山梨交通株式会社、日本信号株式会社
先進モビリティ株式会社

【株式会社オリエンタルコンサルタンツの主な役割】

- ①実証計画策定、運営、評価・分析
- ②社会受容性の醸成に向けたプログラムの計画立案 等

【実験車両】

ベース車両：ポンチョ（日野自動車）

車両定員：定員 28 名（着座 10 名※運転手含む）

最高速度：80km/h（実証実験時は 50km/h を上限）



【取組①：自動運転の技術立証の概要】

期間：2024年2月13日(火)～3月1日(金)

走行ルート：甲府駅～ゆめソーラー館やまなし

走行距離：約 12.5km ※一般の方のご乗車は予定しておりません

【自動運転に関する技術立証のための走行ルート】



